

# 2019 参院選 連続調査 公示前（第1回）

## 報告書

（2019年6月20日～6月28日調査）

I	調査の目的・設計	1
II	調査結果 概要	4
III	調査結果 詳細 ◆クロス集計表	12
IV	全体・男女別集計	26
V	調査票	28



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# I 調査の目的・設計

## ◆目的

第 25 回参議院選挙が 7 月 4 日公示、21 日投開票の日程で行われ、124 議席（選挙区 74、比例代表 50）が争われます。長野県選挙区は、改選数が 2 から 1 に減って 2 回目となります。

安倍晋三首相の政権運営にどんな審判が下されるでしょうか。憲法改正や消費税増税に対する見方、評価等も踏まえ、公示前の時点で県内有権者の政治意識や争点、投票行動を探りました。

※「2019 参院選 連続調査」は、今回の公示前（第 1 回）と、投票後（第 2 回）を予定しています。

## ◆設計

▽調査方法 長野県世論調査協会に登録しているモニターに調査票を郵送し、回答は郵送、ファクス、インターネットを併用して回収。

### 【モニター】

性別や年代、選挙区別の比率が、長野県内の有権者の縮図となるよう登録者を選定している。現在、18 歳以上の 559 人。モニター対象の世論調査は 1995 年の参院選後に初めて実施し、年 2 回程度、政治意識を中心に聞いている。

▽調査時期 2019 年 6 月 20 日調査票発送～6 月 28 日回収締め切り

▽調査対象 長野県世論調査協会の登録モニター 559 人

▽有効回収数 489 人（回収率 87.5%＝男性 231 人 女性 258 人）

▽回収内訳

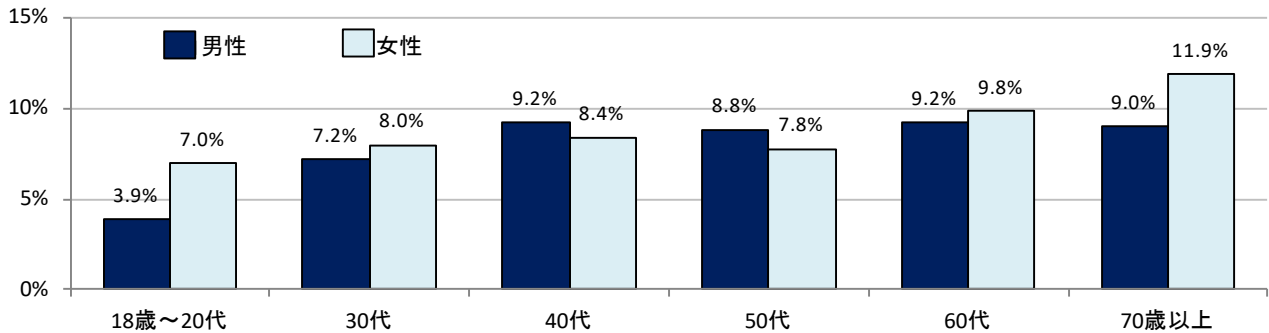
郵送	280 (57.3%)
ファクス	107 (21.9%)
インターネット	102 (20.9%)

<注>報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。  
見出しのみ小数点第 1 位を四捨五入。

## 回収サンプルの内訳

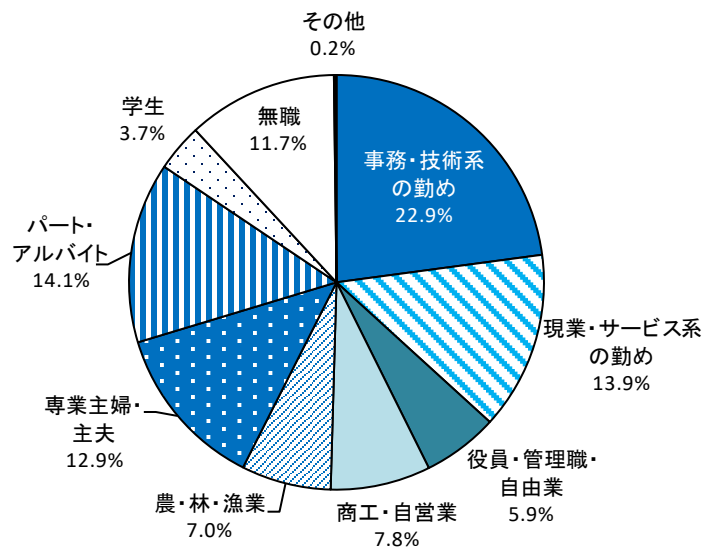
### 【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	489	53	74	86	81	93	102
	100.0%	10.8%	15.1%	17.6%	16.6%	19.0%	20.9%
男性	231	19	35	45	43	45	44
	47.2%	3.9%	7.2%	9.2%	8.8%	9.2%	9.0%
女性	258	34	39	41	38	48	58
	52.8%	7.0%	8.0%	8.4%	7.8%	9.8%	11.9%



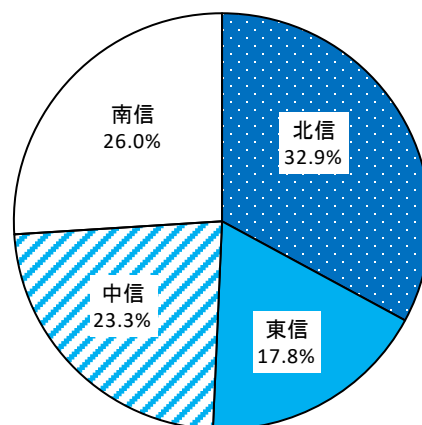
### 【職業】

事務・技術系の勤め	112	22.9%
現業・サービス系の勤め	68	13.9%
役員・管理職・自由業	29	5.9%
商工・自営業	38	7.8%
農・林・漁業	34	7.0%
専業主婦・主夫	63	12.9%
パート・アルバイト	69	14.1%
学生	18	3.7%
無職	57	11.7%
その他	1	0.2%



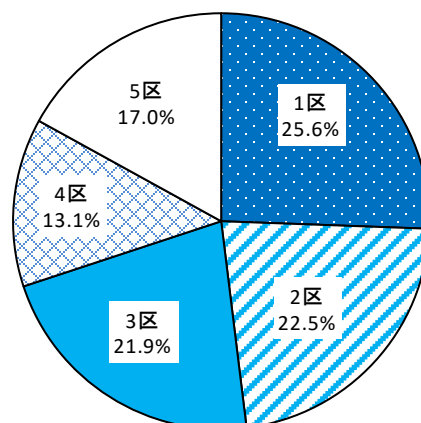
**【地域】**

北信	161	32.9%
東信	87	17.8%
中信	114	23.3%
南信	127	26.0%



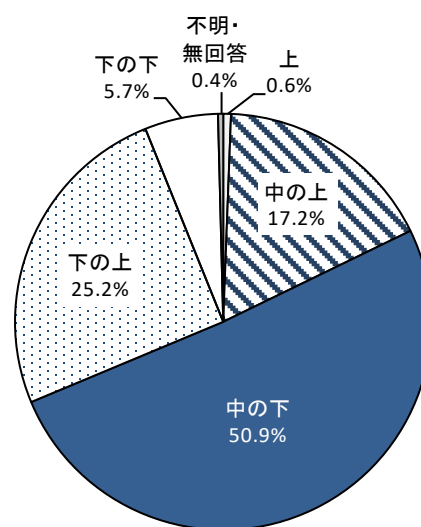
**【衆院小選挙区】**

1区	125	25.6%
2区	110	22.5%
3区	107	21.9%
4区	64	13.1%
5区	83	17.0%



**【暮らしぶり】**

上	3	0.6%
中の上	84	17.2%
中の下	249	50.9%
下の上	123	25.2%
下の下	28	5.7%
不明・無回答	2	0.4%



## Ⅱ 調査結果 概要

有効回収数 489人

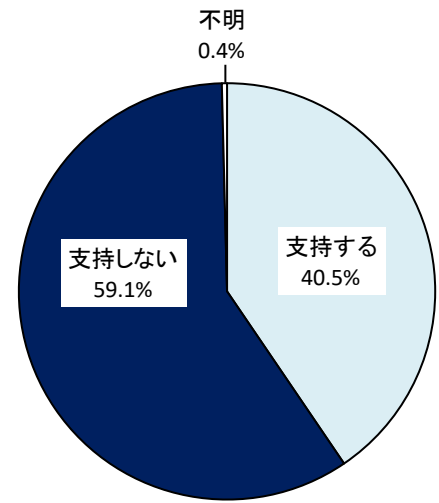
### 内閣支持率

#### 問1 あなたは、安倍内閣を支持しますか

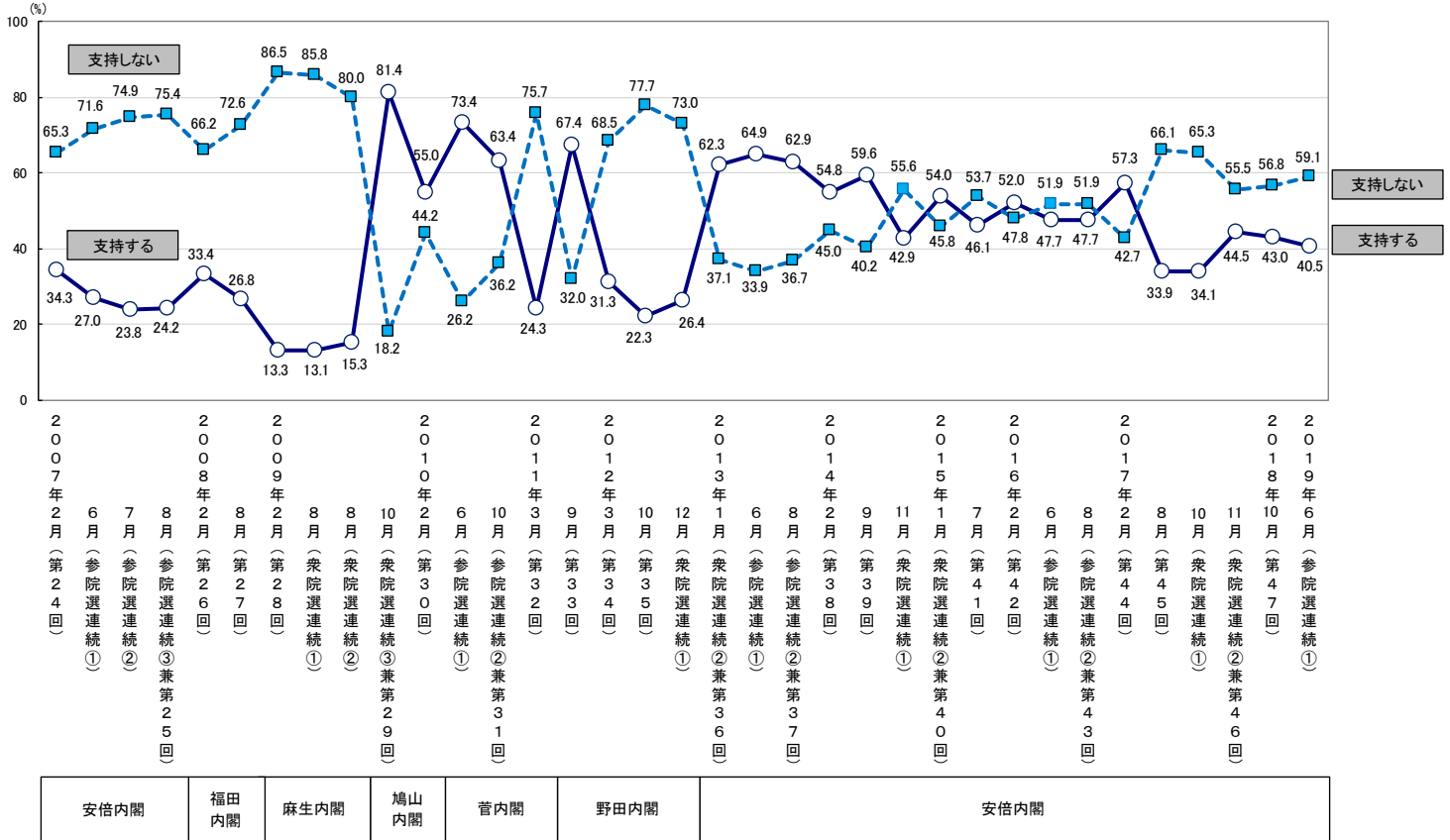
#### ◆支持 41%、不支持 59%

安倍内閣の支持率は 40.5%。これに対し、不支持率は 59.1%で 18.6 ポイント上回った。2018 年 10 月の前回定例調査は不支持率 (56.8%) と支持率 (43.0%) の差が 13.8 ポイント。今回やや広がった。

年代別では 18 歳～20 代と 30 代では支持率と不支持率が拮抗。40～60 代は不支持率が 6 割超だった。



【内閣支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



問2 (問1で「① 支持する」とお答えの方にお尋ねします)  
 支持する理由を次の中から2つ以内に絞ってお答えください

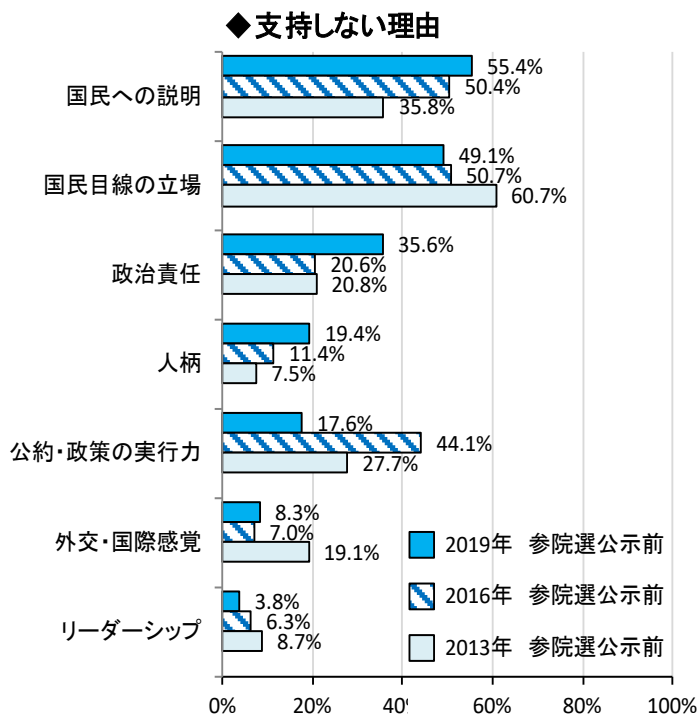
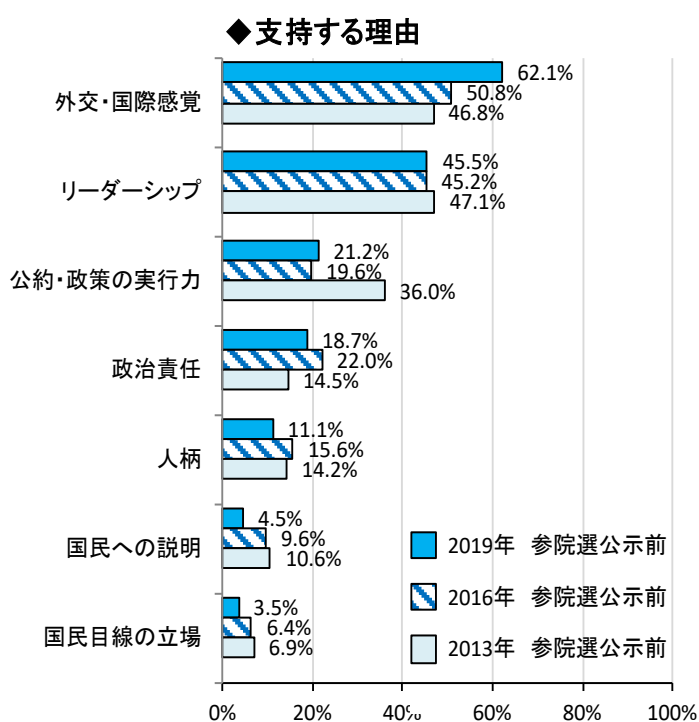
◆支持の理由 「外交・国際感覚」最多 62%

安倍内閣を支持する人に理由を尋ねたところ(2つ以内)、「外交・国際感覚」が62.1%で最多。2016年参院選公示前調査の50.8%を11.3ポイント上回った。次いで「リーダーシップ」45.5%。「公約・政策の実行力」「政治責任」は2割前後。

問3 (問1で「② 支持しない」とお答えの方にお尋ねします)  
 支持しない理由を次の中から2つ以内に絞ってお答えください

◆不支持理由 「国民への説明」最多 55%

不支持の理由は「国民への説明」「国民目線の立場」がそれぞれ55.4%、49.1%と5割前後を占め、2016年参院選公示前調査と類似の傾向。「政治責任」が35.6%で続いた。



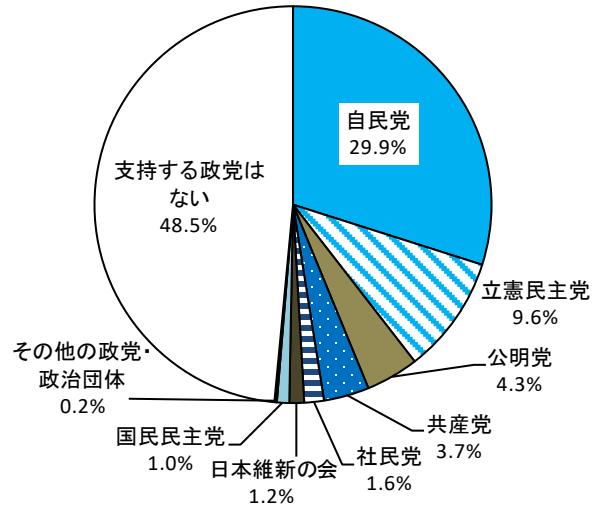
# 支持政党

## 問4 あなたは、どの政党を支持していますか

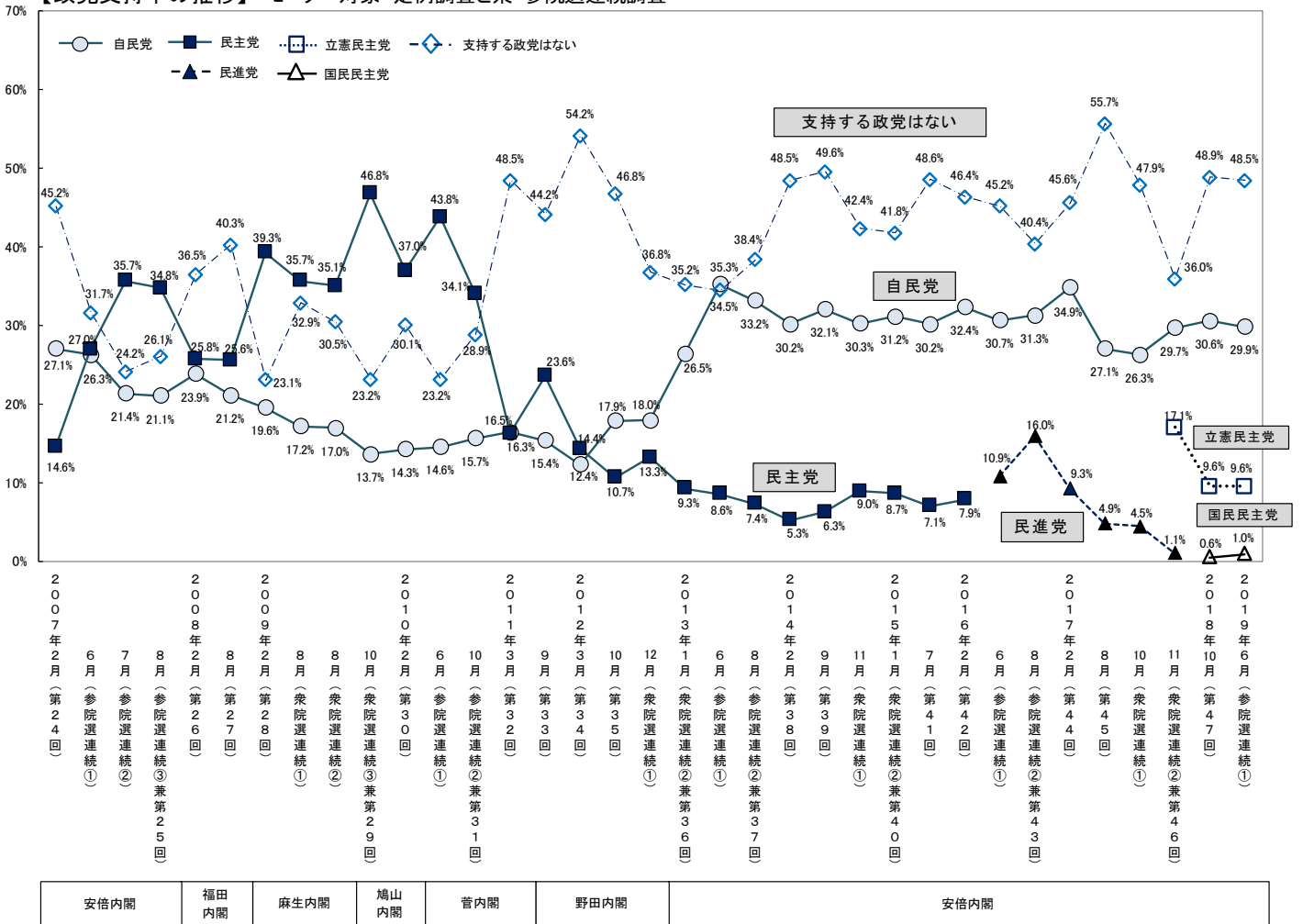
◆自民 30%、立憲 10%、支持なし 49%

政党の支持率は、自民党が 29.9% でトップ、次いで立憲民主党 9.6%。支持政党なしが 48.5%。前回 2018 年 10 月の定例調査とほぼ同様の傾向。

年代別で自民党支持率が高いのは、70 歳以上の 37.3%、18 歳～20 代の 35.8%。立憲民主党支持は 60 代、70 歳以上がそれぞれ 12.9%、16.7% と他の年代に比べ高い。支持政党なしは、50 代が 58.0% と最も高かった。



【政党支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



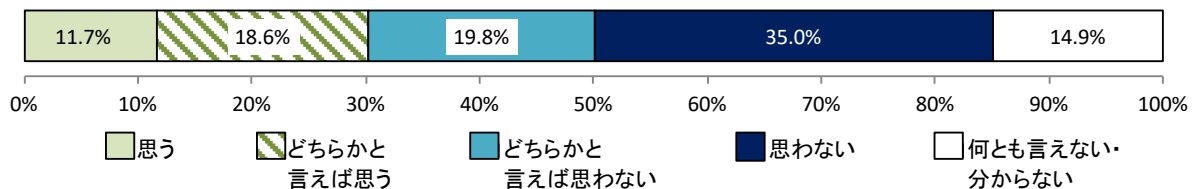
## 政治課題

問5 A 自民、公明の与党と、安倍政権下での憲法改正に前向きな政党や議員を合わせた改憲勢力が、改憲の国会発議に必要な3分の2以上の議席を占めた方が良いと思いますか

### ◆改憲勢力3分の2「良いと思う」計30% 「思わない」計55%

安倍政権下での憲法改正に前向きな勢力の国会議席が3分の2を占めた方が良いと思うかを尋ねたところ、「思う」「どちらかと言えば思う」は計30.3%。これに対し「どちらかと言えば思わない」「思わない」が計54.8%。

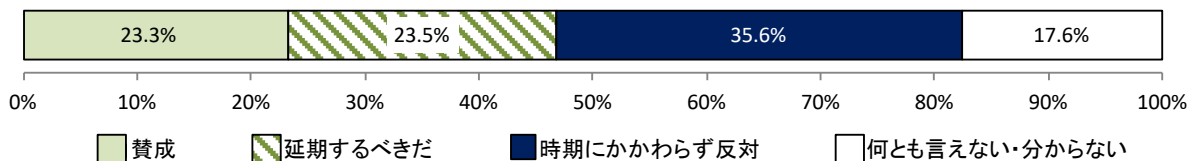
自民党支持層では「思う」「どちらかと言えば思う」が計64.4%。支持政党なし層は「どちらかと言えば思わない」「思わない」が計68.8%に上った。



B 消費税率を10月に8%から10%に引き上げるについて、どう思いますか

### ◆消費税増税「時期にかかわらず反対」36%

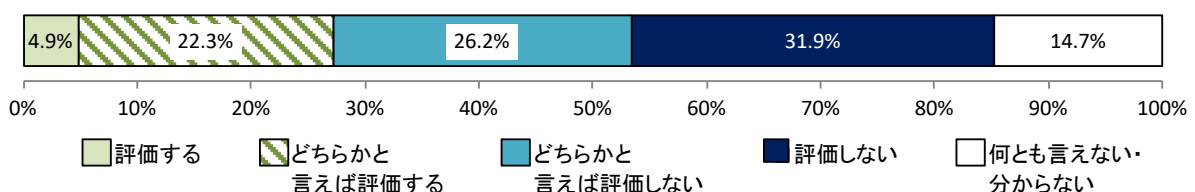
消費税率を10月から10%に引き上げることには「時期にかかわらず反対」との回答が35.6%で最多。「延期するべきだ」も23.5%。「賛成」は23.3%で、増税への理解、支持が十分には広がっていないことを示した。



C 安倍政権の経済政策「アベノミクス」(金融緩和、財政出動、成長戦略)を評価しますか

### ◆アベノミクス「評価しない」計58%

「評価する」「どちらかと言えば評価する」が計27.2%だったのに対し、「どちらかと言えば評価しない」「評価しない」が計58.1%と2倍以上。自民党支持層では逆に「評価する」「どちらかと言えば評価する」が計58.2%を占めた。



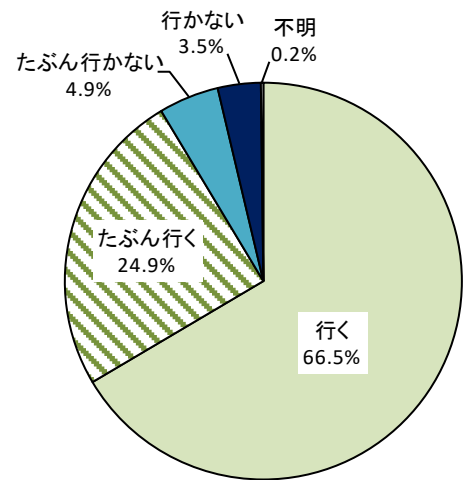


## 投票行動

問6 あなたは、今夏の参院選の投票に行きますか  
(期日前投票を含む)

### ◆「投票に行く」3人に2人

参院選の投票に「行く」(66.5%)、「たぶん行く」(24.9%)を合わせると91.4%。現時点の関心の高さを示している。



問7 あなたは、投票の際にどの政策を重視しますか。  
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください

### ◆トップは「年金・社会保障・医療」

投票の際、重視する政策は「年金・社会保障・医療」が67.9%で最多。老後資金問題などが背景にあるとみられる。前回2016年参院選の公示前調査でも、重視する争点として一番手に挙げたが42.4%。今回25.5ポイント上回った。

「景気・雇用」が49.7%、「子育て支援・少子化対策」が33.9%で続いた。

